

事務事業名		伝統人形芝居振興事業		会計	一般会計		実施区分		
H28担当課等名		文化会館		事業種別	政策	開始	S59	終了	
H28係等名		H28係等名		人形劇のまちづくり係		H27係等名		人形劇のまちづくり係	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
		施策	63	地域資産の保存・継承					
目的	対象(誰・何を)	①今田人形座及び黒田人形座 ②人形座が保存されている地元中学生(竜峡中、高陵中)						指標名及び単位	27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	①人形浄瑠璃を上演できるようにする。②技術を学び継承する。						①座数	2
	向上させたい上位施策の成果指標	地域資産を保存・継承していく人数						②地元中学生(竜峡中、高陵中)数	680
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	①上演回数			20	15	20	-	
	成果指標	②人形浄瑠璃を学ぶ中学生の数			45	50	50	-	
定性目標									
事業概要	<p>今田人形、黒田人形の伝統人形浄瑠璃を保存伝承するために、それぞれの保存会が行う研修活動、後継者育成を目的とする地元中学校への指導活動を支援する。</p> <p>また、今田人形、黒田人形に加え、早稲田人形(阿南町)、古田人形(箕輪町)の伊那谷4座が協同して研修や公演を行うため「伊那人形芝居保存協議会」の活動を支援する。</p> <p>飯田市が伊那人形芝居保存協議会の事務局となるのは、H25～28の4年間。</p>								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	1 後継者育成の取り組み (1)高陵中学校(黒田人形)、竜峡中学校(今田人形)への指導(謝礼の支出)				1 (1)稽古日数		1 (1)73日		
	2 上演・稽古等の施設の管理 (1)地元の管理運営委員会へ指定管理(委託料の支出)				2 (1)管理施設数		2 (1)2施設		
	3 伊那人形芝居保存協議会の合同研修 (1)義太夫、三味線、人形操りの研修を四座で実施(旅費・謝礼等の支出)				3 (1)研修回数		3 (1)8回		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		4,412	4,598	4,491	4,159	(国)文化財保護補助金(1/2) (そ)地域伝承活動事業負担金			
国庫支出金		1,000	1,000	1,000					
県支出金									
起債									
その他		500	500	500	1,500				
一般財源		2,912	3,098	2,991	2,659				
人件費計(千円)②		261		261					
正規職員所要時間		70		70					
臨時職員所要時間		10		10					
総事業費①+②		4,673	4,598	4,752	4,159				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>黒田人形、今田人形の座員が、他の座と連携しながら技術を磨き、公演や、後継者への指導を行うことによって伝統人形芝居を保存・継承できるよう、事務局としてサポートをした。</p>								
改革改善の考え方	①問題点	後継者の育成が課題である。							
	②改革提案	技術向上への支援を行い、上演活動、学習活動、PR活動を通じて啓発に取り組む。また、地元を始め「人形劇のまち運営協議会」や「いいだ人形劇センター」などと連携した活動の展開を支援していく。							